



数式の入力

演算記号とセル参照

(C)TERAKOYA 2014

数式の入力

[1] 数式

セルには、文字と数値の他に、数式を入力することができます。

数式を入力するときには、必ず **=** を先頭に打ちます。

Shift キーを押しながら「ほ」のキーを打つと、**=** が入力されます。



[2] 演算記号

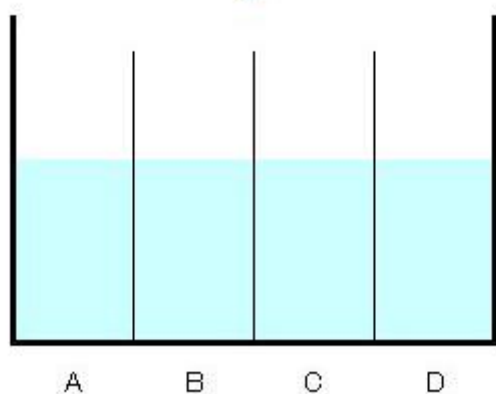
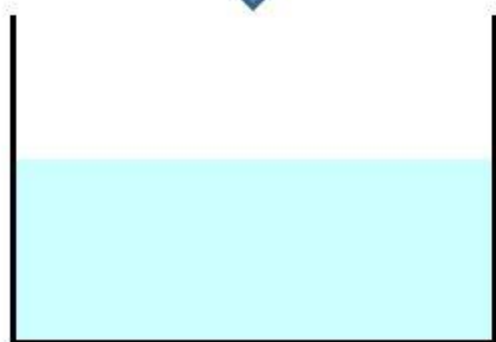
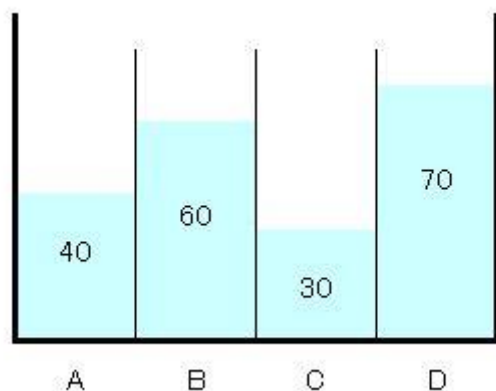
数式を入力するときの演算記号は、次のとおりです。

演算記号	読み方	入力例
+ (たし算)	プラス	=10+2
- (ひき算)	マイナス	=10-2
* (かけ算)	アスタリスク	=10*2
/ (わり算)	スラッシュ	=10/2



平均の求め方 [1]

[1] 平均を求める数式



①4つの数値を平らに均^{たい}なら^{なら}して全体を求めます。

$$40 + 60 + 30 + 70 = 200$$

②全体を4等分して、一つ分を求めます。

$$200 / 4 = 50$$

③平均を求める数式を、まとめて書きます。

$$(40 + 60 + 30 + 70) / 4 = 50$$

平均の求め方 [2]

[2] 平均を求める問題

①伊藤さんのテストの得点は、春 75 点、夏 80 点、冬 88 点でした。

(ア) 3 回のテストの平均点を求める式を書きましょう。

式： $(75+80+88)/3=81$

(イ) 下記の表を作り、平均点を求めましょう。

	A	B	C	D
1				
2		春	75	
3		夏	80	
4		冬	88	
5		平均点		
6				

②「パソコン入門講習会」の申込者数は、日曜日 124 名、月曜日 97 名、火曜日 127 名、水曜日 114 名でした。

(ア) 1 日あたりの平均申込者数を求めましょう。

式： $(124+97+127+114)/4=115.5$

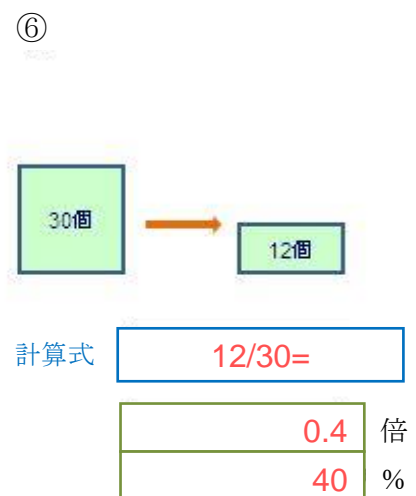
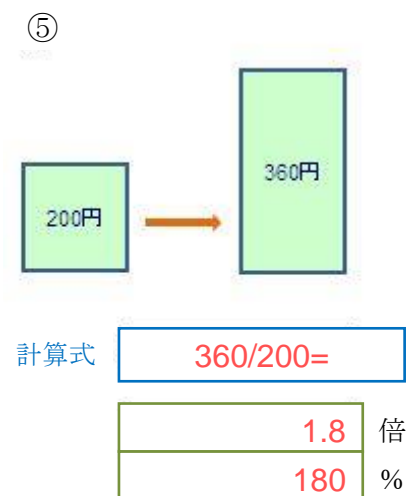
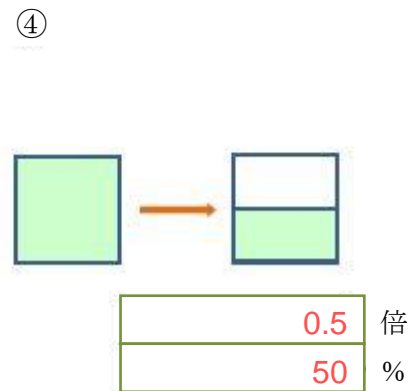
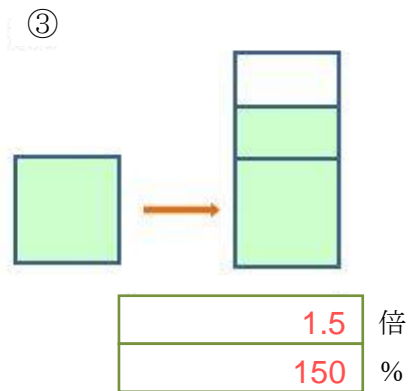
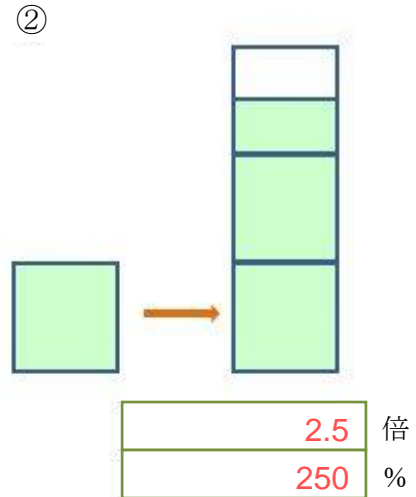
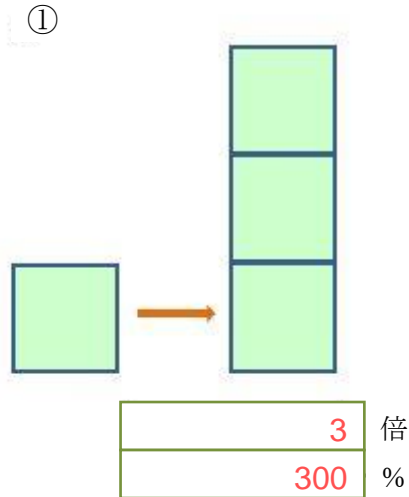
(イ) 下記の表を作り、平均点を求めましょう。

	A	B	C	D
1				
2		日曜日	124	
3		月曜日	97	
4		火曜日	127	
5		水曜日	114	
6		平均		
7				

倍とパーセント [1]

[1] 倍を求める数式

[練習 1] 図を見て、何倍に変化したかを書きましょう
また、倍をパーセント (%) で表しましょう。

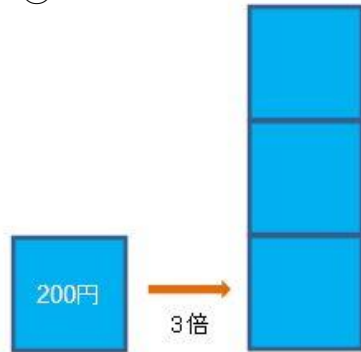


倍とパーセント [2]

[2] 変化後の量を求める数式

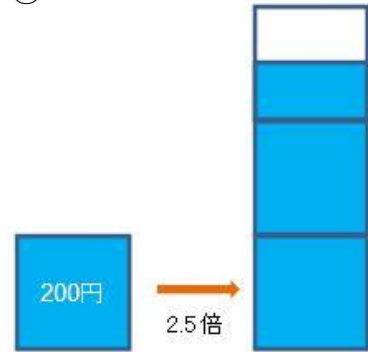
[練習 2] 図を見て、変化後の量を求めましょう。

①



$$200 \times 3 = 600 \text{ (円)}$$

②



$$200 \times 2.5 = 500 \text{ (円)}$$

③



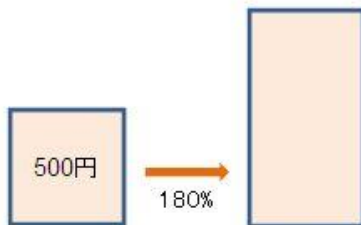
$$12 \times 1.5 = 18 \text{ (kg)}$$

④



$$12 \times 0.5 = 6 \text{ (kg)}$$

⑤



$$180\% = 1.8 \text{ 倍}$$

$$500 \times 1.8 = 900 \text{ (円)}$$

⑥

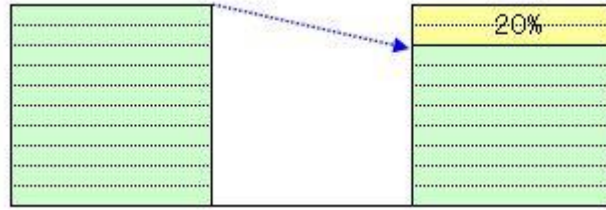


$$40\% = 0.4 \text{ 倍}$$

$$30 \times 0.4 = 12 \text{ (kg)}$$

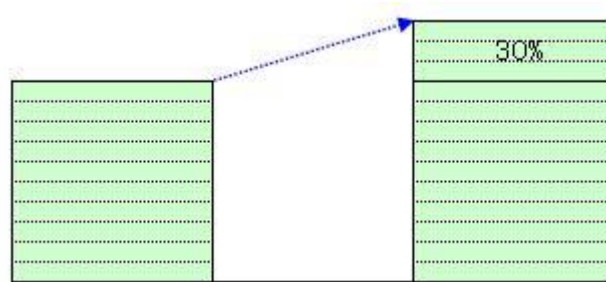
倍とパーセント [3]

[3] 20%引き



20%引き → 元から 20%を引く
→ $100\% - 20\% = 80\%$
→ 元の 0.8 倍

[4] 30%増し



30%増し → 元に 30%を加える
→ $100\% + 30\% = 130\%$
→ 元の 1.3 倍

[問題 1] 2,000 円の 25%引きは、いくらですか。

$100\% - 25\% = 75\%$ → [%を使わないで書くと] → $1 - 0.25 = 0.75$ (倍)

$2000 * (1 - 0.25) = 2000 * 0.75 = 1500$ (円)

[問題 2] 50,000 円の 5%増しは、いくらですか。

$100\% + 5\% = 105\%$ → [%を使わないで書くと] → $1 + 0.05 = 1.05$ (倍)

$50000 * (1 + 0.05) = 50000 * 1.05 = 52500$ (円)

相対参照と絶対参照 [1]

[1] そうたいさんしやう 相対参照

他のセルに入力されたデータを参照するとき、
数式が入力されているセル位置を基点^{きてん}として、セル位置を参照します。

下図で、セル D3 に数式「=B3*C3」が入力されています。

基点となるセルが D3 ですから、この数式は

$$=2\text{つ左のセル} * \overset{\text{かける}}{1}\text{つ左のセル}$$

という位置関係を表していることとなります。

この数式を、オートフィルを使ってセル D4～D6 にコピーすると、
基点からの位置関係がコピーされます。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		単価	数量	合計	D 列に入力された数式	
3		200	6	1200	←	=B3*C3
4		300	8	2400	←	=B4*C4
5		500	14	7000	←	=B5*C5
6		1200	5	6000	←	=B6*C6
7						

[練習 1] ①上の表を作りましょう。

②D3 から D6 までの内容を、数式バーで確認しましょう。

相対参照と絶対参照 [2]

[2] 絶対参照 ぜったいさんしょう

他のセルに入力されたデータを参照するとき、
数式が参照しているセルの位置を固定して参照します。

セル位置を絶対参照するには、
列番号、行番号の前に ドルマーク \$ 記号をつけて「\$B\$3」などと入力します。

※セルをクリックした直後、またはセル範囲をドラッグした直後に
ドルマーク F4 キーを押すと \$ 記号が入ります。

下図で、セル D3 には世界全体の生産台数に対する日本の生産台数の割合 (%) を求める数式「=C3/\$C\$6」が入力されています。

この数式では、世界全体の生産台数を表すセル C6 を絶対参照で固定する必要があります。固定することで、セル D3 の数式をセル D4~D6 にコピーしたとき、コピー先でもセル C6 の値は変化しないのです。

	A	B	C	D	E	F
1		自動車の生産[2006年]				
2		国名	万台	%	D 列に入力された数式	
3		日本	1148	17%	← =C3/\$C\$6	
4		アメリカ	1126	16%	← =C4/\$C\$6	
5		中国	719	10%	← =C5/\$C\$6	
6		世界計	6913	100%	← =C6/\$C\$6	
7						

[練習 2] ①上の表を作りましょう。

②D3 から D6 までの内容を、数式バーで確認しましょう。